

瀋陽駐在員事務所



「原油価格が下がると・・・」

これまで、瀋陽ではタクシーを降りる際にメーターの代金に加えて追加燃料代 1 元を加えて代金を支払うことになっていました。例えば、降車時のメーターが初乗りの 8 元（約 160 円）だった場合は、追加燃料代 1 元を加えて 9 元を支払っています。

最近の世界的な原油安を受け、この「追加燃料代」が今年 1 月から廃止となりました。また、瀋陽のガソリン価格自体も従来の 1 当り 6.05 元（約 115 円）から 5 年ぶりに 5.9 元（約 112 円）と 5 元台まで値下がりしています。ちなみに中国でもガソリン価格の中にはかなりの割合で税金を含んでいます（中国：34%、日本：約 41%）。

この原油安、一般庶民には概ね朗報ではありますが、よい事ばかりとは言えないように思えます。まず、中国の自動車の排ガス規制は日本が 2008 年から「ガソリン硫黄含有量 10ppm 以下」の規制を行っているのに対し、中国では 2014 年末までに「50ppm 以下」とすることを目標にしているに過ぎず、こうした対策の遅れは環境汚染の一因となっています。また、ガソリン価格が低水準であれば市民が自動車を購入する際のポイントである「燃費の良し悪し」への動機付けも弱くなります。最近、中国市場での日本車メーカーの苦戦が報道されていますが、日本車の持つ強み訴求力が弱くなっていることも原因の一つではないかとも思われます。

南 敏律

ウジノサハリンスク駐在員事務所



新年を迎えるウリツの人々



色鮮やかなイルミネーション

ロシアの新年とクリスマスの過ごし方

新年は年齢、性別に関係なく、全てのロシア人が最も愛する祝日です。そして、クリスマスは日本や西洋諸国と違って、約 2 週間遅い 1 月 7 日に行われます。この間、約 10 日間程度、ロシアで最も長い連休となります。一般的には日本同様、自宅で家族と一緒に過ごしますが、若者と中高年ではその過ごし方が若干異なります。18～20 歳代の若者は 2、3 時間程度家族と食事をした後、友人たちとのパーティーに出かけます。レストラン、バー、ナイトクラブ、あるいは友人宅、その日一日だけのレンタルルームで夜通し楽しむ様です。

一方、サハリンではこの連休を利用して海外旅行をする人が増えています。やはり北国サハリンですから暖かさを求め、タイ、ベトナムなどの東南アジアが高い人気です。ところが今年は様子が違った様です。その原因はルーブルの暴落です。今年の国際線利用客数は約 4,000 人で昨年対比約 1,000 人近く減少した様です（ウジノウリツ空港調べ）。

ウジノウリツ市内もこの間、いたる所に電飾で鮮やかに彩られたイルミネーションが美しく、雪化粧と上手くマッチした北国ならではの“冬の風物詩”を楽しむことができます。今年、最も寒いマイナス 26 を先日体感しましたが、サハリンの冬も年々暖かくなって来ている様な気がします。

三上 訓人

ウラジオストク駐在員事務所

ロシアでの年越しについて



シューバを着たニシン

日本で年越しというと、家族が集まり、年越しそばを食べ、除夜の鐘を聞くのが一般的かと思われます。ロシアでも同じように年越しは家族や友人と祝うのが一般的なようです。

今回、初めての海外での年越しはお世話になっている方にお招きいただき、ロシア家庭での年越しを経験しました。美味しい料理、シャンパンなどのお酒を楽しみつつ、テレビで映画や歌謡番組を見て、時間を過ごします。新年を迎える直前には、沿海地方知事の演説、プーチン大統領の演説が放送され、0時をむかえると、広場やいろいろな場所で花火が上がります。残念ながら中央広場での花火を間近で見ることができませんでしたが、遠くであがっている花火を多く眺めることができました。

最後にロシアの定番お正月料理を紹介します。それは「毛皮のコートを着たニシン」という料理です。酢漬けニシン、ジャガイモ、玉ねぎを層状に重ね、外側をマヨネーズであえたピーツで包んだもので、ボリュームがあってとても美味しいものです。ロシア語で「シューバを着たニシン」といい、「シューバ」とは女性が着る毛皮のコートで、食材を層状にしているのが重ね着を、外側のピーツがコートを思わせることからきている洒落たネーミングとなっています。

伊藤 清平

カシコン銀行

「サワディー ピーマイ カップ！」



セントラルワールド 前の様子

新年明けましておめでとうございます（タイトルの意味でもあります）。筆者は年末日本へ帰国しなかったため、年末年始を暖かいタイで過ごしました。タイでは西暦の他、仏暦をメインに利用しており、数え方は西暦に 543 年を加算すると仏暦となります。賞味期限等生活に即した年月日は大抵仏暦を使用していますので、タイに良く来られる方は覚えておいた方が便利かと思います。何はともあれ無事に 2558 年を迎えることが出来ました。

大晦日ではバンコク都内はもちろん、ビーチで有名なプーケットやパタヤ、ホアヒンなど、ありとあらゆるところでカウントダウンイベントが開催されているようですが、タイで最大の会場と言われるセントラルワールド前のイベントに参加してきました。バンコクは渋滞世界一と言われる都市ですが、その中でも有数の渋滞地区セントラルワールド・バンコク伊勢丹前、サイアムパラゴン前方の通りは交通量が著しく多いですが、イベント時には全て歩行者天国となります。この光景がデモ以来というのが何とも...

18 時頃からライブやらディスコやらビアガーデンやらとイベント好き、派手好きなタイらしいイベントで、極めつけは Happy New Year の瞬間の花火。普段はテンションが上がりにくい筆者もさすがに感動した瞬間でした。今年も頑張ろう。

伊藤 彰浩

